



2 エッセイ／“おかね”を語る
貧福論 作家 円城 塔



4 インタビュー／扉を開く
戸田奈津子 映画字幕翻訳者・通訳
「字幕翻訳」——好きだからこそ切り拓いた道



9 地域の底力——千葉県館山市
都市生活ものどかな暮らしも
幸せを選べる千葉県館山市

16 対談／守・破・創
北川フラム アートディレクター
原田 泰 日本銀行政策委員会審議委員
美術家と地域住民が共鳴して「芸術祭」が創られる



新連載
20 貨幣の世界——① [形 その1]
古代オリエントから欧州

26 FOCUS → BOJ 18 前橋支店を訪ねて
多岐にわたる支店の仕事

日本銀行のレポートから

30 「経済・物価情勢の展望」(展望レポート) —2016年1月—

32 「地域経済報告」(さくらレポート) —2016年1月—
地域の視点「各地域における企業の雇用・賃金設定スタンス」



36 トピックス
創業支援に関する地域ワークショップを開催ほか

39 AIR MAIL from London
ロンドン中心部の住宅街の一風景

表紙のことは



表紙・画 北村公司

日本銀行神戸支店は、日本銀行の第一六番目の支店として、昭和二年（一九二七）六月に開設されました。折しも日本中が未曾有の金融恐慌に見舞われていた頃であり、神戸支店の開設もその影響を大きく受け、当初の予定から一カ月遅れとなりました。

表紙の初代店舗は、大正十二年（一九二三）の関東大震災の発生を受け、より耐震性・耐火性を高めた鉄筋コンクリート造りの堅牢な建物でした。そのため、昭和十三年（一九三八）の阪神大水害、昭和二十年（一九四五）の神戸大空襲という大きな試練に遭遇したにもかかわらず、倒壊を免れました。ちなみに、戦時中は空襲の目標物とならないように、建物全体が真っ黒に塗られていたそうです。

その後、戦後の経済発展に伴う事務量および職員数の増加により建物が手狭になったため、昭和三十六年（一九六一）、道を隔てた向かいに現在の店舗を新築しました。支店前の通りでは、平成七年（一九九五）より、阪神・淡路大震災の犠牲者の鎮魂と街の復興を祈るイベントとして始まった「神戸ルミナリエ」が開催されています。